



概念ダイアグラムイメージ まきつく「めぐる広場」とあふれる活動

### めぐる表現の社

「社の都」の「社」は人々が協力し合い、長い年月をかけて育ててきた豊かな緑のことで、その丁寧な手入れしてきた緑こそ仙台の宝という市民の想いがこめられています。この計画では広瀬川や青葉山の風景に呼応し、大切にきた「社」の風景を守る音楽ホールと震災メモリアル拠点の複合施設を提案します。仙台のさまざまな活動のエネルギーをあつめ表現し放つ、そのような「表現の社」を目指します。

### さまざまな方向から・さまざまな方向へ

さまざまな方向にエントランスを設け、いろいろな方向から人々を迎え入れます。さまざまな人々が出会い、集まり、活動し、さまざまな方向へ繰り出していくような、行き交う人々や活動が集合して、発信する場所を計画します。

### めぐる震災メモリアル拠点

震災メモリアル拠点は展示室やライブラリー、アーカイブなどを山を学ぶようにめぐりながら見学できる計画とします。めぐりながら出会う、さまざまな情報や人々の活動に触れることが可能です。今の仙台の姿と震災当時の姿に触れながら進み、最上階のクワイエットスペースに辿りつきます。クワイエットスペースは仙台の街を見渡せ、未来の仙台を思い描けるような場所を計画します。

### いろいろな場所がいろいろな人の発表の場

ホールを囲むように練習室や会議室、展示室などの「活動の部屋」を配置し、その外には人々が交流できる、動線自体が広場になったような空間「めぐる広場」を配置します。「活動の部屋」はイベント時に建具を開放し、舞台になったり、通路から連続するギャラリーになったり、「めぐる広場」にプログラムが飛び出すこととあらゆる場所が表現の発表の場となり、活動の活性化を促します。

### フレキシブルな使いかたができるホール

大小ホールを二重の遮音可動壁を設けることで一体化できる空間を提案します。大小ホール間の間にはパフファースペースを設け、音響的機能的リスクを遮断します。こうしたリスクを排除することで大ホールと小ホールを一体化したり、リハーサル室としての利用や、練習室などの機能の拡充が可能となる計画としています。

### 頑強かつ柔軟にプランニングが可能な剛骨併せもつ構造計画

建物中央に配置された大小ホールの遮音壁をRC耐力壁として活用した掘れにくいバランスの良い耐震計画とします。ホール内は鉄骨梁（一部トラス）を採用し、吊りものにフレキシブルに対応可能な計画とします。建物外周部の構造は鉄骨間柱をよび鉄骨小梁によって構成し、鉄骨量を抑えて経済性に配慮するとともに、部材の最小化により透明性が高く、空間を阻害する材の少ない計画を実現しました。敷地は良好な地盤であることから、直接基礎（べた基礎）を採用します。



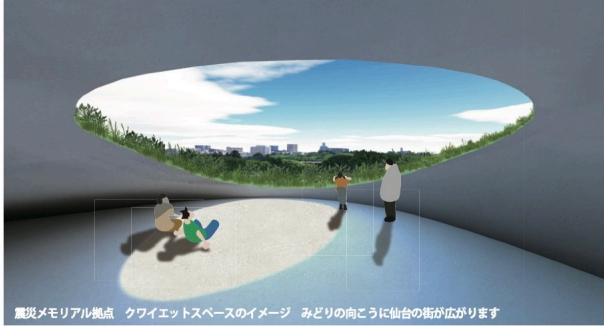
1F広場エリアのイメージ 動線空間が広場になったような「めぐる広場」1Fはすり鉢状の床になっておりイベントなどが開催できにぎわいにあふれた空間となります



2F広場エリアのイメージ 「めぐる広場」にあふれた「活動の部屋」のプログラム



大ホール内部空間イメージ 最長のサイトラインを確保。セタガゼリをイメージした木組の内装



震災メモリアル拠点 クワイエットスペースのイメージ みどりの向こうに仙台の街が広がります



震災メモリアル拠点 クワイエットスペースの静寂イメージ

### さまざまな方向から・さまざまな方向へ

さまざまな方向にエントランスを設け、いろいろな方向から人々を迎え入れます。さまざまな人々が出会い、集まり、活動し、さまざまな方向へ繰り出していくような、行き交う人々や活動が集合して、発信する場所を計画します。

### めぐる震災メモリアル拠点

震災メモリアル拠点は展示室やライブラリー、アーカイブなどを山を学ぶようにめぐりながら見学できる計画とします。めぐりながら出会う、さまざまな情報や人々の活動に触れることが可能です。今の仙台の姿と震災当時の姿に触れながら進み、最上階のクワイエットスペースに辿りつきます。クワイエットスペースは仙台の街を見渡せ、未来の仙台を思い描けるような場所を計画します。

### いろいろな場所がいろいろな人の発表の場

ホールを囲むように練習室や会議室、展示室などの「活動の部屋」を配置し、その外には人々が交流できる、動線自体が広場になったような空間「めぐる広場」を配置します。「活動の部屋」はイベント時に建具を開放し、舞台になったり、通路から連続するギャラリーになったり、「めぐる広場」にプログラムが飛び出すこととあらゆる場所が表現の発表の場となり、活動の活性化を促します。

### フレキシブルな使いかたができるホール

大小ホールを二重の遮音可動壁を設けることで一体化できる空間を提案します。大小ホール間の間にはパフファースペースを設け、音響的機能的リスクを遮断します。こうしたリスクを排除することで大ホールと小ホールを一体化したり、リハーサル室としての利用や、練習室などの機能の拡充が可能となる計画としています。

### 頑強かつ柔軟にプランニングが可能な剛骨併せもつ構造計画

建物中央に配置された大小ホールの遮音壁をRC耐力壁として活用した掘れにくいバランスの良い耐震計画とします。ホール内は鉄骨梁（一部トラス）を採用し、吊りものにフレキシブルに対応可能な計画とします。建物外周部の構造は鉄骨間柱をよび鉄骨小梁によって構成し、鉄骨量を抑えて経済性に配慮するとともに、部材の最小化により透明性が高く、空間を阻害する材の少ない計画を実現しました。敷地は良好な地盤であることから、直接基礎（べた基礎）を採用します。

### 地域に自然に寄り添う環境計画

太陽光発電 太陽光発電を設置し災害時の非常電源としても活用  
自然換気 建物周囲の共用空間は風が通り抜ける。雨風利用。建物下部には雨水利用槽を設置しクロスベンチレーションを計画します。木漏れ日を 屋根から採光。また、井戸も掘削し水資源のうけならぬ風が吹き抜けるように、内部用途に有効活用を行います。井戸水は雑用利用のみあわせて、自然を感じられるゾーンを風通しします。

### 2階平面イメージ S=1/600

市民活動ラウンジ、受付カウンター、ゲートウェイスペース、管理運営、作業応接、事務室、中央監視室、職員WC、情報資料室、情報コーナー、大ホール舞台、大ホール2004席、ワークショップ、スタジオ、常設展示、衣装工房、ラボ、情報コーナー、大ホール舞台、大ホール2004席、ワークショップ、スタジオ、常設展示、衣装工房、ラボ、情報コーナー

### 3階平面イメージ S=1/600

大ホール舞台、大ホール2004席、ワークショップ、スタジオ、常設展示、衣装工房、ラボ、情報コーナー、大ホール舞台、大ホール2004席、ワークショップ、スタジオ、常設展示、衣装工房、ラボ、情報コーナー

### 4階平面イメージ S=1/800

大ホール舞台、大ホール2004席、ワークショップ、スタジオ、常設展示、衣装工房、ラボ、情報コーナー、大ホール舞台、大ホール2004席、ワークショップ、スタジオ、常設展示、衣装工房、ラボ、情報コーナー

### 5階平面イメージ S=1/800

大ホール舞台、大ホール2004席、ワークショップ、スタジオ、常設展示、衣装工房、ラボ、情報コーナー、大ホール舞台、大ホール2004席、ワークショップ、スタジオ、常設展示、衣装工房、ラボ、情報コーナー

### 6階平面イメージ S=1/800

大ホール舞台、大ホール2004席、ワークショップ、スタジオ、常設展示、衣装工房、ラボ、情報コーナー、大ホール舞台、大ホール2004席、ワークショップ、スタジオ、常設展示、衣装工房、ラボ、情報コーナー